

関鉄 Pocket

2004
Vol.5

特集

鉄道・乗合路線バス活用 常総エリア編

地元姉妹がそっと教える・・・
全線まるごと乗り放題 1日フリーきっぷで行く

常総線

各駅途中下車の旅Ⅱ

水海道～下館

東京駅発 高速バスで行く

歴史を偲ぶ蔵と

真壁

菓子工房の街、真壁を訪ねて



東京駅～つくばセンター
2階建て長大高速バス「メガライナー」



特集

鉄道・乗合路線バス活用
～常総エリア編～



全線まるごと乗り放題 1日フリーきっぷで行く

●常総線／水海道～下館

地元姉妹がそつと教える…

常総線・各駅途中下車の旅II

歴史と自然が織り成す日本の原風景に誘う

JR常磐線取手駅から水戸線の下館に至る、5.1kmの路線が関東鉄道常総線。今回は、前号で紹介した水海道までの区間をさらに北上し、終着駅である下館までの沿線スポットをご案内します。舞台となる水海道～下館間では水海道から単線区間に入りワンマン運行となります。取手方面からの下り列車は水海道で折り返し(一部列車を除く)となりますので、石下、下妻、下館へ行かれるお客様は水海道で接続する列車が3番線から出しています。下館に至る区間は取手～水海道までとはひと味違う沿線風景があり、各駅からアクセスできる歴史スポットや自然を満喫できるネイチャースポットなど隠れた名所が点在しています。一言で言うと、「忘れていた日本の正しい原風景」に出会えるそんな沿線の楽しみが秘められています。途中、石下駅や下妻駅から乗合路線バスも出ているので、ちよつと寄り道するのも楽しいものです。もちろん土日・祝日には便利でおトクな「常総線・1日フリーきっぷ」を有効活用して乗り降りすれば楽しみも倍加すること請け合いです。今回は、石下町在住の稲葉玲子、苑子さん姉妹に沿線お薦めスポットを紹介して頂きました。

法蔵寺(かさねの墓)

1592年(文禄元年)の開基とされ、「累の墓所」として全国に知られた名刹です。累の怪談物語は、江戸時代の戯作者鶴屋南北により取り上げられるところとなり、現在も歌舞伎、清元に語り継がれています。ここには、累の木像をはじめ枯天上人が用いた怨霊解説の数珠などが保管されています。(北水海道駅から2km、参拝自由、☎0297-242114)



安楽寺(元三大師)

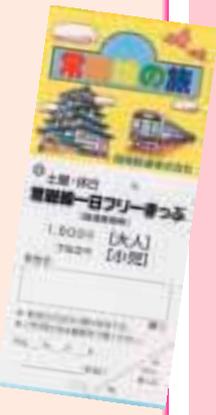
大生郷天満宮の守護のために建立され、祈願所とされました。江戸時代初期に元三大師を勧請されてから一躍関東の名刹となり、正月3日のダルマ護摩には各地から多くの信徒で賑わいます。(北水海道駅から4km、参拝自由、☎0297-241533)



全線まるごと乗り放題

常総線1日フリーきっぷが便利でお得

土日、祝日の当日に限り全線乗り降り自由の『常総線1日フリーきっぷ』を発売しています。沿線散策やお買い物に最適なこのきっぷ、12月29日～1月3日の年末年始も発売しますので、是非ご利用下さい。(無人駅を除く各駅窓口で1カ月前から発売、大人1500円、小人750円)



北海道市商工観光課・北海道市観光協会 ☎0297-23-2111 関東鉄道水海道営業所 ☎0297-22-0452
 関東鉄道水海道駅 ☎0297-22-0453 関鉄常総タクシー ☎0120-62-8817

＝駅配置図

若鳥丸焼きの名店教えます〜クロサワ

明治時代から石下の地で鳥一筋にこだわっている名店があります。このクロサワ(黒澤朝男社長)さんは、お爺さんの代から鳥卸業者として創業し、石下駅から貨物列車に乗せて東京へ出荷した、と当時を振り返りました。鳥に対するこだわりはそれは半端なものではなく、この店の若鳥丸焼きが人気高い所以なのです。40年前に始めた「若鳥丸焼き」は、冷凍は一切使用せず、全国の養鶏場を訪ねて辿り着いた福島県産。その日に仕入れて独自のタレで焼き上げる、骨まで染み渡る味はこの店ならではのものです。非常に肉が柔らかく一度食べたら忘れられない逸品です。(石下駅から徒歩2分、本店=9時〜18時、火曜日定休、☎0297-42-2609、西原店=☎0297-42-3362)



鴨汁そばの美味しい店〜志な乃



沿線に美味しい蕎麦店は数多くありますが、北水海道駅に程近い「志な乃」さんは地元でも鴨汁蕎麦、うどんの定評ある隠れた名店なんです。取材は一切お断りというところなんです、さりげなく掲載するならご主人の許可を頂いたものです。ですから、能書きは言いませんので、ここでは写真(鴨汁合盛・800円)のみで勤弁して下さい。昼間4時間のみの営業となっています。(北水海道駅から徒歩3分、11時〜15時、水曜日定休)

石下の美酒ここにあり



常総線沿線は良質米の産地として、古くから酒造りが盛んでした。石下町には現在2つの蔵元があり、地元茨城の銘酒として高い評価を受けています。まず「一人娘」(山中酒造店)は、1805年(文化2年)に創業した老舗の蔵元。昔は裏を流れる鬼怒川の清流で酒を仕込んだといひます。水が軟水なので甘口に造ると口がだれる、と思いついて辛口に仕立て、昭和11年には全国品評会で優等、さらに19年の全国新酒鑑評会で1位となったことで全国にその名が知れ渡りました。一方、「細美人」(野村醸造)は、1897年(明治30年)創業の蔵元。近江系が多い県内ではここは地元系の蔵元で、谷和原村の契約農家で作られた米と筑波山の湧き水で醸した掛りのお酒なんです。蔵人が高齢化される中で、こここのスタッフは若手が多いのも特徴。平成12年には全国新酒鑑評会で金賞を受賞しています。(山中酒造=☎0297-42-2004、平日で5人以上の見学可(要予約)、石下駅から徒歩5分、野村醸造=☎0297-42-2056、見学随時、石下駅から徒歩15分)



石下名産・団子の名店

石下町に来たら食べて欲しいのが「団子」。そこで町の名産にもなっている、2件の団子屋さんを紹介しましょう。昭和3年に創業した「春子屋」さんは、



小貝川の廃川を利用して、へら鮎釣りと春には桜の名所として親しまれている吉野公園。市営の桜と釣りの名所として、釣り場は水面積5万㎡、周囲約4kmに及ぶ広大な自然を生かした家族でも楽しめる憩いの場になっています。(三妻駅から1km、5時30分〜16時30分、木曜日定休 ☎0297(22)9349)

へら鮎釣りが楽しめる桜の名所〜吉野公園

かつては旅人相手の茶店だったそうです。この店では元来、団子一種類のみを賣って、その日売る分だけ手造りするこし餡団子。餅がなくなると再仕込みができないため、店を閉めることも。一方、隣の「ゆたかや」さんも、ふるさとだんごの名甘みを抑えた素朴な逸品で近年、甘味喫茶の店として支店も好評なので足を運んでみては如何でしょうか。共に地元のコシヒカリと北海道の大豆を用いて造られています。微妙に餅の固さが違うので双方味わって見て下さい。日持ちがしないので、万一固くなったら湯で溶いておしるこにすると美味しいですよ。(春子屋本店 ☎8時30分〜19時、☎0297(42)2232、水曜日定休、バイパス店 ☎8時30分〜18時、☎0297(42)0233、ゆたかや本店 ☎8時〜18時30分、月曜日定休、☎0297(42)2646、城下新石下店 ☎0297(42)1414、両本店は石下駅から徒歩15分)

まるごと栗入り最中の味〜ころはや製菓



三妻駅に程近い集落の一角に「とげぬき地蔵」があります。常総線沿線には新取手のとげぬき地蔵と並び信仰の深い地域尊なのです。大正2年に団子屋として創業したころは製菓さんがそのお地蔵様(因みに25年前に造ったのがこの「三妻のとげぬき地蔵最中」です。厳選された北海道小豆の中に、茨城県産の栗が丸ごと入った数々の賞を受賞している手造りの逸品です。パリッとした生地の食感ほ他の最中にはないこの店ならではのものです。開店後もよく常総線が開通し、団子造りの最中に関東大震災に遭い店は倒壊したそうです。看板娘のすみさんは震災直後に生まれたシャキシャキおばあちゃん。嫁の栄子さん2人で味を守り続けています。(三妻駅前7時30分〜18時、第1・3火曜日定休、☎0297(22)7224)



豊田城は町のランドマーク〜地域交流センター



小貝川の川辺に1346年〜1370年(正平年中)に豊田氏12代善基によって築城されたとされる豊田城。城跡は小貝川の改修で詳細不明となりましたが、1575年(天正3年)に廃城となりました。現在では所縁の地に1992年(平成4年)に豊田城を模した5層7階建ての展示施設「地域交流センター」としてオープンしました。石下町の歴史と産業、長塚節の展示コーナーがあります。(石下駅から徒歩10分、展示室入館料400円、9時〜16時30分、月曜日休館 ☎0297(42)0169)

小説「土」の著作者長塚節の生家

農民文学の不朽の名作と言える「土」は余りにも有名で、著作者である長塚節の生家が鬼怒川を渡った川向ににあります。1879年(明治12年)に豪農の長男として生まれた節は、「アラキ」を創刊。明治43年には夏目漱石の推挙により、151回にわたり新聞連載で発表したのが小説「土」なのです。その後、土に続く大作構想も束の間、旅先の福岡で36歳の生涯を閉じました。この生家の書院には、執筆しやす斜面に造られた愛用の机や旅先で使用した菅笠や衣装などが保存されていて、庭と書院が公開され、ガイドさんが詳しくレクチャーしてくれますよ。(☎0297(42)5797、10時〜16時、石下駅から4km)



石下町産業振興課観光係 ☎0297-42-3111 関東鉄道石下駅 ☎0297-42-2752 千代川村企画課 ☎0296-43-5111



安産と子供を守る観音様
〜十一面観音菩薩

鬼怒川を背にする畑の一角にひっそり佇むお堂があり、室内には観音像、大日如来、不動明王が安置されています。観音様は行基菩薩作のカヤ材の一本彫立像で、安産と子育ての神様として信仰されています。毎月9日が縁日となっています。(玉村駅から徒歩20分、参拝自由)



手ぶらで行けるフィットネスパーク
〜ほっとランドきぬ

隣接するゴミ処理場の余熱を利用した温水プールと11種類のバラエティーに富んだお風呂が楽しめます。プールサイドまでも全館床暖房を完備し、水着やタオルのレンタルもあるので手ぶらで行ける手軽さが人気なのです。トレーニングルームもありますので、日頃の疲れを癒し、ゆったりとした一日が満喫できます。(宗道駅から徒歩20分、10時〜21時月曜日休館 入館料500円、☎0296(30)4126)

水運の繁栄を垣間見る
〜宗道河岸跡

国のモデル事業である水環境創造事業として整備された農水路付近は、かつて水運に利用されていた上・中・下と主要の河岸が3つありました。鬼怒川から江戸に至る物流の要衝で、常総線の開通以降、鉄道輸送へと変わりました。改修された現在は、宅地などで姿を消しましたが、今でも地形から当時の相貌を感じることが出来ます。周辺は遊歩道や休憩施設を備え、訪れた方がくつろげる空間となっています。(宗道駅から徒歩10分)



山門の彫刻は左甚五郎の作
〜常光寺

日光東照宮の「眠り猫」と言えば、左甚五郎で有名ですが、この常光寺の山門に納めてある龍の彫刻は同氏の作と言われています。夜な夜な龍が山門から隣の常光寺沼に抜け出して、水浴びに出たので、龍の目玉に止め釘を打ち込んだという伝説があります。(玉村駅から徒歩25分、参拝自由)



大 宝

21.2km・32分

下 妻

18.6km・28分

下妻市企画課 ☎0296-43-2111 関東鉄道下妻駅 ☎0296-44-2659 関鉄パープルバス ☎0296-30-5071

砂沼に近く温泉・地ビール工場・ホテルが融合する「ピアスパークしもつま」では、毎分140ℓの湧出量を誇る天然温泉でリフレッシュし、季節限定ビールが揃うレストラン「パストレイク」で地ビールを味わい宿泊までできる、ここは砂沼エリアの新しいくつろぎリゾート。体験農園や体験工房、農産物直売もあり、



地ビールが味わえるくつろぎリゾート、ピアスパークしもつま



砂沼に接する約80万㎡の広大な地に、野球場やテニスコート、フィールドアスレチックなど自然を活かした施設をはじめ、整備された6kmに及ぶ遊歩道を散策すると、沼を懐とする景観を堪能できます。春には、50種2000本の桜が美しく、6月には菖蒲アジサイが彩ります。公園内にはウォーターズライダ―や波のプールなど10種類のプールが楽しめる「砂沼サンビーチ」があり、シーズンには下妻駅からバスが直結します。(下妻駅から関鉄パープルバスで東長塚バス停下車、☎02996(43)6661)



市民が憩う水辺のオアシス、砂沼広域公園

石臼挽き手打ちそば店みつけた～追分

その街に美味しい蕎麦店の存在を知ると、どうも黙ってられないのが本誌のこだわり。だから毎号、お蕎麦屋さん必ずといって載るのはそのためで、半端な店では決して誌面を飾れないことを編集方針としています。1971年(昭和46年)に開店したこの「追分」さんは自家石臼でひきたての蕎麦粉を使うこだわり手打ちそばの店。鯉節の厚削りも出来合いは一切使わず、お店で削っているんです。粉の乾燥状態などご機嫌とりながらいい仕事をしています。手間隙かけたものだから、美味しい蕎麦が提供できる訳。まだ僕は修行中です、と謙遜する2代目の息子さんは言います。ゆっくり味わいたいなら昼時を避けた方が無難です。(下妻駅から徒歩12分、11時～20時、5週月は第2・4金曜日、4週月は第1・3金曜日定休、☎0296-44-2418)



家族レジャーの拠点として是非訪れたいお薦めスポットなのです。(下妻駅から関鉄パープルバスで長塚バス停下車徒歩10分、第2火曜日休館、☎02996(30)5121、入湯料700円、10時～22時、レストラン11時～21時30分)



リバーサイドは日本のホビー畑、小貝川ふれあい公園



小貝川の河川敷に季節になると5000万本のホビーが咲き誇るお薦めスポットがあります。川向かいにそびえる筑波山をバックに撮影や写生のベストロケーションになっていて、園内には国蝶「オオムラサキ」を象ったユニークな施設「ネイチャーセンター」があり、大自然を満喫できるリバーサイドエリアです。見頃は5月中旬から下旬には毎年「フラワーフェスティバル」が開かれます。(下妻駅から関鉄パープルバスで比毛バス停下車徒歩5分)



駅に近い関東最古の八幡宮、大宝八幡宮

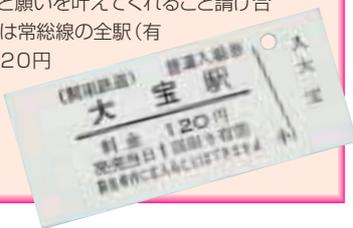


701年(大宝元年)に創建された関東最古の八幡宮とされています。駅に程近い境内はかつての大宝城の城跡にあたり国指定史跡になっています。平将門もたびたび戦勝祈願に参拝したと言われ、1577年(天文5年)に再建された三間社流造の本殿は国の重要文化財に指定されています。また、古墳時代の丸木舟やお宝が展示された資料館もあり、第1日曜日に骨董市が開かれます。(大宝駅から徒歩3分、参拝自由、資料館入館料200円)



大きい宝が入る 縁起きっぷが人気

大宝駅は無人駅なのですが、この駅の入場券が「大きい宝が入る」と縁起担ぎの人気アイテムになっているのです。昔ながらの硬いきっぷで、財布にそっと忍ばせるもよし、宝くじと一緒にしたりと、購入後の使い方は様々。きつと願いを叶えてくれること請け合いです。同切符は常総線的全駅(有人駅)で1枚120円で好評発売中です。





常総線で唯一の木造駅舎の温もりを今に伝える騰波ノ江駅は、1926年(大正15年)8月15日に開駅しました。駅名の由来は、奈良時代の風土記に「とばのおうみ 騰波ノ江」、また万葉集にも「鳥羽の淡海・とばのおうみ」と記されていることで、かつては周辺一帯が海であったことが想像できます。開駅当時の変わらぬ佇まいを今に残す駅として2001年10月に関東の駅百選の認定を受けています。

開駅当時の温もりを残す木造駅舎



南北朝時代の攻防戦地

大宝沼という周辺の地の利を活かして造られた9万㎡に及ぶ城郭がありました。今も遺跡として残されており、関城跡から農道を200mほど入った畑の一角に坑道跡があります。後醍醐(南朝)方の関宗祐と足利(北朝)方の抗争が激化し、互いに掘ったの攻防戦が繰り広げられました。(騰波ノ江駅から徒歩15分)

関城町企画課 ☎0296-37-6111
 下館市企画課 ☎0296-24-2111
 関東鉄道下館駅 ☎0296-24-6035

地域の農産物が勢揃い



平成5年にオープンしたこの店は、JA北つくばが運営する農産物のアンテナショップ。管轄するエリアから収穫された様々な季節の農産物が手に入ります。隣接する食堂では関城町産の地粉を使用し



た蕎麦が人気。店頭で焼きいもを販売したり、季節のイベントや新商品の開発も行なっています。近々、青大豆を使ったにがり100%の豆腐がデビューします。注目は、黒子駅から徒歩10分、国道294号線沿い、9時〜18時、水曜日定休、☎0296(37)4101

駅クローズアップ

新しくなりました～黒子駅
 お客様により良い駅環境を提供するため、黒子駅のリニューアル化を図りました。駅舎のデザインを刷新するとともに、男女別水洗トイレの設置を行なうなど、利用者の皆様から好評です。



常総線、今は昔～三所支線
 今から40年前、大田郷から関城町を通り鬼怒川縁に至る路線が伸びていました。鬼怒川は良質な砂利が採れたことから、この三所支線から常総線を介して貨物輸送を行ない、併せて大田郷までの旅客輸送も行なっていました。今ではその痕跡を確認することは難しいのですが、当時の大田郷駅舎は今とは反対側に位置し、水海道に向かって右にカーブを描いていった線路跡が歩道になった今、確認できます。

県内最大面積を誇る道の駅

県内の道の駅は数あれど、この「道の駅しもつま」は1万9千㎡の敷地面積を誇る県内最大のもので、周辺の菓子や工芸品に至るお土産が揃う物産センター、近隣の農家で収穫された朝採り野菜が手に入る直売所に併せてミニ納豆工場や蕎麦打ち体験ができる加工場まで完備されています。(黒子駅から徒歩20分、国道294号線沿い、6時〜22時、年中無休 ☎0296(30)5296)



●常総線時刻表(下館発・上り)【平日】

6:07	6:29	6:52	7:13	7:14	7:41	8:04	8:44
9:18	9:51	10:28	11:12	12:09	12:59	13:58	
14:43	15:17	15:42	16:26	17:22	18:37		
19:10	19:37	20:36	21:21	22:33			

●常総線時刻表(下館発・上り)【土日休】

6:07	6:29	6:52	7:13	7:41	8:04	8:44	9:18
9:51	10:28	11:12	12:09	12:59	13:58		
14:43	15:17	15:42	16:26	17:22	18:02		
18:37	19:10	19:37	20:36	21:21	22:33		

●常総線時刻表(水海道発・下り)【平日】

5:17	5:37	5:59	6:23	6:46	7:07	7:44	8:20
8:59	9:46	10:09	10:31	11:06	11:29	12:24	
13:13	14:03	14:38	15:10	15:34	15:55	16:19	
16:42	17:29	18:03	18:30	19:12	19:39	20:16	
20:42	21:16	21:58	22:34	23:25			

●常総線時刻表(水海道発・下り)【土日休】

5:17	5:37	5:59	6:23	6:46	7:07	7:44	8:20
8:20	8:59	9:46	10:09	10:31	11:06	11:29	
12:24	13:13	14:03	14:38	15:10	15:55		
16:19	16:42	17:29	18:03	18:30	19:12	19:39	
20:15	20:42	21:16	21:58	22:34	23:25		



キャベツてんこ盛りは親心の証し〜駅前ラーメン

南口駅前に何の看板もないラーメン屋さんがあります。この「駅前ラーメン」さんは、昔から根強いファンが多い店なんです。それは、この店の「タンメン」(650円)に訳がありました。「ウチは一切宣伝はしないし、取材も断って来た!」と職人気質の女将さんの言葉に一瞬怯んでしまいましたが、ここで帰る訳には行かず取材願いを止めて常総線に入ってくれて一段落。これが注文した誰もが驚くボリュームなんです。キャベツが並々と盛られて、食べても麺が顔を出さない格闘の世界に誘ってくれます。実は、昔から単身赴任のサラリーマンや学生さんが良く来てくれて、お客様の健康を願って始めた女将さんの親心だったのです。でも、厳選された青キャベツだから柔らかくて見た目よりも食べられる。質を変えたらお客に申し訳ない、キャベツが価格変動しても言う商売はできない、と思いが込められた逸品です。(下館駅南口前、12時〜16時・17時30分〜22時、月曜日定休、☎0296-24-1310)



下館駅北口から歩けば古い町並みを見ることが出来ます。この荒川家は平成11年に県下初の個人所有で有形文化財指定を受けた家屋なんです。江戸時代から醤油、味噌製造を営んでいた荒川家。主屋はアール・デコ洋式を取り入れた昭和初期の造り、土蔵・店舗は明治、大正建築のどしりとした風格を醸し出しています。主屋は、はげ付けというコンクリートに大谷石を砕いて混ぜた外装は仄かに緑がかった自然の色調が伺えるものです。今は酒屋として営業

●中心部に残る文化財家屋
荒川家住宅



下館出身の陶芸家として、その遺業と功績を称え後世に残すべく公開しているのが、この記念館なのです。明治5年の誕生から東京美術学校(現・東京芸術大学)に入学する明治22年まで過ごした生家(県指定文化財)や、東京田端の工房で使用した窯など、名作の数々を展示しています。また、創作活動の傍ら郷土の文化財保護やボランティアに対する活動にも力を注いだと言います。筑波山に因んだ号からも郷土を愛した同氏の軌跡を垣間見れる場所です。(下館駅から徒歩10分、10時〜17時、月曜日、年末年始休館、入館料200円、☎0296(25)3830)

●近代陶芸作家の先駆者
板谷波山記念館

駅クローズアップ

新取手駅・寺原駅・守谷駅のリニューアル
このほど、新取手駅舎がリニューアルされ市鳥であるフクロウの住む森をイメージした駅舎のデザインとなりました。自動改札機、男女別水洗トイレ、ホームに架かるスロープを新設しています。併せて寺原駅も黄色を基調とした大きい屋根の明るい駅舎です。一方、つくばエクスプレス(TX)とのジャンクション駅となる守谷駅では、新駅舎の施工に伴い現在、仮駅舎にて営業をしております。橋上駅となる新駅舎は常総線とTXが一体となった機能性と快適性を備えた新しい駅舎デザインとなっています。平成17年3月を目途に竣工予定となっております。



●ハム・ソーセージがもと好きになる
下館工場

下館には日本ハムの工場がありますが隣接する「下館工場」さんは2002年にオープンした本場



している店の天井を見ると、格子となっている見張り窓の細工が施され、泥棒避けに覗いて使用していたそうで、美人の女将さんが丁寧にレクチャーしてくれました。(下館駅北口から徒歩7分)



ドイツの伝統製造に基づいた本格的ハム・ソーセージを提供するお店。店内には同店ブランドの製品販売、ソーセージ工房では軽食もできます。また、手づくり体験工房では1週間前までの申し込みで参加費、材料費を払えば1名〜36名までの自らオリジナルソーセージを造ることが出来ます。ハム・ソーセージにもっと親しんで欲しい、という企業の願いが込められたおしゃれな工房です。(下館駅南口から徒歩15分、11時〜20時、水曜日定休、☎0296(21)1129)

特集

高速・乗合路線バス活用



東京駅発〜高速バスで行く

歴史を偲ぶ蔵と菓子工房の街、真壁を訪ねて



筑波山と加波山の麓に位置する真壁町は、平安時代末期に真壁氏が城を築き、笠間藩の陣屋支配を受ける江戸時代まで当地を治めた歴史ある街です。市街には、江戸時代から大正期に造られた見世蔵・土蔵・門などの歴史的建造物が今なお残り、タイムスリップしたかのような不思議な趣を醸し出しているのが魅力です。現在では、60軒を超える建造物が国の有形文化財登録を受け、その数は町村レベルで日本一を誇っています。また、石材工芸も盛んで真壁三石灯籠は国指定の伝統工芸に指定されており全国に流通される一方、とりわけお菓子やさんが多い特徴を活かし、地元の菓子商組合が『和菓子の町』としての新たなPRに努めています。文化財と伝統工芸に触れ、お菓子屋さんを巡る、真壁は日帰り散策にとっておきのエリアなのです。真壁へのアクセスは、東京駅八重洲南口④番のりばから筑波山行きの高速バス（ニューつくばね号）が出ており、筑波山（筑波駅）まで1時間40分でアクセスします。そして筑波駅から真壁駅、真壁駅経由岩瀬中央公民館ゆきの乗合路線バスで来町するルートがお薦めです。



高速バス時刻表

●東京駅→筑波山 下り
7:20 9:10 11:10 12:50 14:50 16:40
18:40 20:20
●筑波山→東京駅 上り
5:50 7:45 10:00 12:00 14:05 15:50
17:25 19:15

乗合路線バス時刻表

●筑波駅→真壁駅
【平日】 7:45 8:12 14:50 17:35 18:30 19:25
【土休日】 10:20 15:30 16:20
●筑波駅→真壁駅→岩瀬中央公民館
【平日】 7:07 10:20 12:15 15:10 17:00
【土休日】 7:20 9:20 12:20 14:25 17:30

関東鉄道つくば北営業所 ☎0298-66-0510
関鉄パープルバス ☎0296-30-5071

●交通MEMO

東京駅→筑波山（高速バス） 1,730円（所要＝1時間40分）
筑波駅→真壁駅（乗合路線バス） 540円（所要＝20分）
★常磐高速バスニューつくばね号は座席定員制です。所要時間は道路交通渋滞等で変化する場合があります。



旅の始まりは駅から〜旧真壁駅



地域の足として使命を終えた筑波鉄道。その軌道跡は自転車専用道「りんりんロード」として整備され、旧真壁駅構内はトイレを備えた休憩所となり、筑波駅、下妻や岩瀬方面へのバス発着所と



御陣屋前通りは街のメインストリート



江戸時代、この通りの東側に笠間藩の陣屋が置かれていたため、その名が付きました。潮田家、木村家、川島家といった蔵造りの家屋が軒を連ね、真壁の歴史ある町並みを形成している通りです。バス通りに面し、潮田家からこの通りを北へカメラを向けるとベストショットが撮れますよ。



BUSトピックス

非接触 (IC) カードシステム試験導入

取手市内を運行する当社乗合路線バス全車(21両)に、新たなカードシステムを試験導入しました。このカードは、車内に設置されたセンサーにカードを触れると運賃が支払えるチャージ式回数券で、1000円単位で最高3万円までチャージ(積増)することもできます。小銭を用意する手間も省け、大変便利なカードです。



幕末からこの地で「勢州楼」という名で料亭を営んでいました。現在の主屋は明治中期に3代目の田中萬蔵氏によって建設され、主屋と脇蔵は有形文化財に指定されている真壁の老舗旅館の一つです。玄関先では休憩することができ、雑祭りが行なわれていました。真壁では、訪れた方々へのもてなしと出会いを大切にしている気持ちは込めて、各家庭の雑飾りを公開しているのです。この旅館でも代々伝わる雛人形を飾り来町者を楽しませていました。(真壁駅バス停から徒歩10分、下宿バス停すぐ) 0296(55)0176

文化財指定を受けた老舗旅館、伊勢屋旅館



伊勢屋旅館さんから御陣屋前通りを北へ歩くと左手に2階建ての白い建物が見えてきます。こは、1972年(昭和2年)に立てられた旧真壁郵便局。現在は、街並み案内所として機能し、石材工芸品の展示や町民の方々がPRに努めています。館内は、出納窓口や私書箱が当時のまま残っており、2階の旧局長室はオープンスペースとなっています。(真壁駅バス停から10分、土・休日解放)

郵便局は街のギャラリー、旧真壁郵便局



こんなの見つけたのけ灯かり

旧郵便局館内に、のけ灯かりという石材工芸を見つけました。地元の方が考案したようで、灯籠の仲間でしょうか?何とも言いえない温かさを醸し出しています。火鉢状に抜いた中に電灯を入れてガラスで蓋をして、その上に小石をちりばめて透過する光のこぼれ火を楽しむ。上から、横から覗いたり、人々が人と触れ合うこの光のオブジェは忘れかけていた何かを呼び起こす温かさがありました。軒先に1つずつ置いてライトアップすれば、また違った幻想的な景観を生み出す切掛けになることでしょう。



高速バス
乗合バス



来町者の拠り所
仲町休憩所

古い町並み散策の途中でちょっと一息入りたい時は、この仲町休憩所に立ち寄って下さい。御陣屋前通りに面し、旧郵便局の並びに位置しています。ここでは真壁のPRはもとより、お茶や各種地酒がセルフで試飲できるのです。隣の洋品店のご主人、川島孟さんが休憩所の管理をしているため、ご主人自ら町の案内をしてくれます。休憩所は以前、家主が住んでいた家屋を再利用しているもので、町並み景観と良くマッチしています。(真壁駅バス停から10分)



懐かしいミジンコ菓子と
餡ドーナツの味〜白川菓子店



歴史ある街には和菓子店が多く、その地の名物菓子というものが必ずあります。とりわけ真壁は市街に11件のお菓子屋さんがあり、これほど集中している町も珍しいのではないのでしょうか。ミジンコ(微塵粉)菓子って知ってますか?蒸して干したもち米をひいて粉にして、砂糖を混ぜてこねて型に打ち抜いたお菓子で、落雁(らくがん)とも言います。鯛や花飾りなどお祝い事などによく見かけた口の中で溶けるお菓子です。この店には様々な木型が展示され、木型の彫刻を見るだけでも芸術的価値があります。一方で、この店で見つけた「あんドーナツ」(60円)は絶品。食べ始めはカリカリとした食感で程よい餡の甘さが絶妙な逸品です。(真壁駅バス停から徒歩12分、年中無休、8時〜20時、☎0296(55)0260)

お菓子で街をPR

真壁菓子商組合(白川宏組合長)では、和菓子店が多い真壁の特徴を活かし、この地を菓子工房の町として広めたいとPRに余念がありません。町並み散策と併せて各店ご自慢の一品を食べ歩きしたり、菓子職人さんと触れ合える環境を創りたい、と来店者に店先でお茶を振る舞ったり、少なかった町中のトイレを商店が提供して受入れ態勢を整える環境創りを行なっています。町中の和菓子屋さんで、真壁菓子工房マップを配布しているので、これを手にお菓子屋さん巡りをお薦めします。町を歩けば隠された銘菓と各店の逸品に出遭うこと間違いなしです。



町内の桜井地区に1268年(文永5年)に、当時の真壁城主である真壁安芸守時幹公により、法身国師真壁平四郎のために開山した伝正寺があります。開山後350年間は照明寺として臨済宗のお寺でしたが、法身国師入寂後181年の1456年(康正2年)に相模国早川の高蔵寺住職がこの地を訪れ曹洞宗に改宗しました。また、伝正寺の名は8代住職良雄大圓

真壁平四郎ゆかりのお寺
伝正寺



こだわりハンバーグの
美味しい秘密 ペンギン

1990年(平成2年)にオープンした手作りハンバーグ専門レストランがあります。このペンギンさん(井上のり江オーナー)のハンバーグは美味しい!と多くのファンが訪れるお店なのです。東北地方の和牛生産者を限定して食肉用黒毛和牛のみもだけを使用するこの店の逸品は「俵ハンバーグ」。店内は、その日仕入れた肉の証明書が掲示される徹底ぶり。肉汁たっぷりでもと柔らかい口当たりがたまりません。引立て役のソースは7種類から選べ、2週間じっくり煮込んだデミグラスソースは絶品。焼き上げりをスタッフが切ってソースをかけナプキンで包むのが特徴。今後は女性客に対してデザートを充実させたい、としています。(関鉄パープルバス源法寺バス停から徒歩3分、11時30〜14時30・17時30〜20時30分、土日は11時30〜20時30分、月曜日定休、☎0296-54-1193)



和尙の時代に、真壁藩主浅野長政公の菩薩寺と定めた際に改称したものです。(伝正寺入口バス停から徒歩15分、参拝自由、☎0296(55)1266)

野鳥が飛来する水辺の
オアシス〜筑紫湖



真壁駅バス停から筑波駅行きのバスで10分程で、松石バス停で降りると筑紫湖に行くことができます。この湖、周辺住民の農業・飲料用水などに供給する人工湖で、様々な野鳥が休息する水辺のオアシスなんです。実は、霞ヶ浦と坑道が繋がっていることで、太公望の格好の釣り場でもあるのです。湖畔も歩いてちょっとしたハイキング気分を味わうことができます。手頃なレイクスポットです。平成6年には、食事ができるつくし亭がオープンされ、この手打ち蕎麦はなかなかの評判です。隣の農産物直売所では周辺農家の生産者が納めた

椎の森に建つ三重の塔
薬王院



新鮮野菜や加工品を格安で購入することができます。(松石バス停から徒歩10分、食堂・直売所は土日祝日のみ営業、10時〜16時真壁町直売組合☎0296(54)2888)

筑紫湖を右手に山道を登って行くと、薬王院があります。周辺は樹齢400年を超える椎の木々に囲まれた椎尾山中に位置する、真壁の町を望む高台に建立されています。782年(延暦元年)に開山され、1550年(天文19年)の大火で焼失、現在の堂塔は1666年(寛文6年)から40年かけて再建された荘厳な佇まいを見せる古刹です。また、ここからの眺望は最高で那須連山も良く見えます。(松石バス停から15分参拝自由、☎0296(55)4319)



旬の魚料理で舌鼓、鉄板囲んでお好焼き

結納・七五三・歓送迎会・他
ご宴会にご利用下さい



和食コース 3,000円～6,000円

鉄板コース 3,000円～5,000円

- 宴会場は100名様まで、通信カラオケ完備(2時間無料・要予約)
- 10名以上のお客様、無料送迎あります。
- ポリューム満点、おすすめランチが大人気。

■ 営業時間 平日 11時30分～14時
17時～22時
日祭日 11時30分～20時
火曜日定休(祭日は営業)

■ 関東鉄道守谷駅から徒歩3分、
国道294号線沿い関東つくば銀行守谷支店隣り



海鮮割烹

お好焼 ひさご亭

☎0297-48-1758

アパート
マンション
土地物築
建 地 物 築
新 築
リフォーム
増 改 築
管 理

不動産に関すること
なんでもご相談ください。



関東鉄道株式会社開発部
☎0120-42-0669

岐阜県



古い町並みと
飛騨高山

1泊2日(昼食付)
バスツアー



ひだプラザホテル

0577-33-4600

● 期間

平成
16年

4/23～

平成
16年

11/30
まで

● 毎日出発

(但し、5/1～5/6および8/12～8/16を除く)

● 会費

大人17,800円～23,300円

国土交通大臣登録旅行業 第1293号

関鉄観光株式会社
関鉄観光バス株式会社
土浦市真鍋1-10-8

☎029-822-3727 (代表)

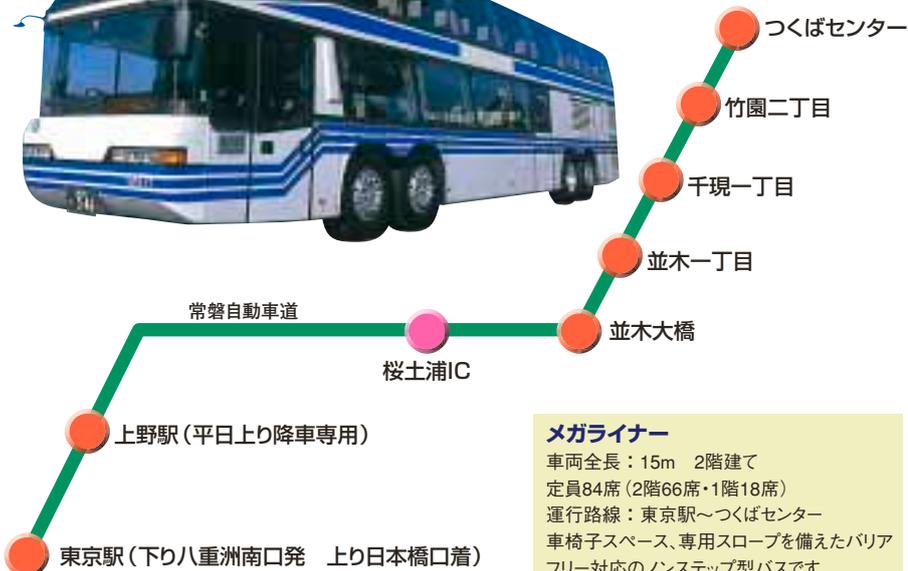
KANTO RAILWAY COMPANY EXPRESSWAY BUS MEGA LINER

ゆったり快適つくばへ、ジャストインタイム

東京駅～つくばセンター

2階建て長大高速バス

メガライナー 登場



メガライナー

車両全長：15m 2階建て
定員84席(2階66席・1階18席)
運行路線：東京駅～つくばセンター
車椅子スペース、専用スロープを備えたバリア
フリー対応のノンステップ型バスです

鹿島鉄道キハ600形

チョコキュー[®]

好評
発売中!

お求めは、石岡・常陸小川・玉造
町・鉾田の各駅または本社事務所

僕、このチョコQ
欲しかったんだ。

1,100円



毎日元気、全線乗り降り自由!

シルバーげんき フリーパス

1カ月……8,000円

3カ月……20,000円

6カ月……30,000円

65歳以上の限定バスで、新規
は使用開始1週間前、継続2週
間前から有人駅でお求めでき
ます。購入時に年齢を証明す
る運転免許証、健康保健証が
必要です。



ふるさとレイクビューライン

鹿島鉄道株式会社

〒315-0001 石岡市石岡字白久台2460

☎0299-23-2358

「鉄道・高速バス活用」マップ

鉄道トピックス

常総線ダイヤ改正
スピードアップを図り列車増便も

3月13日より常総線のダイヤ改正を行いました。取手～水海道間において新型車両をすべて運用し、取手～水海道間を3分30秒短縮の28分30秒で結びます。また、取手～水海道間で3往復（土休日1往復）、水海道～下妻間で2往復（同1往復）、下妻～下館間で2往復（同2往復）を増便しました。一方、取手～水海道間で朝夕のラッシュ時を除く2両編成の車両に対しワンマン運行となります。



- 高速バスルート
- つくばセンタールート
 - 筑波山ルート
 - 水海道・岩井・猿島ルート
 - 南守谷ルート

次号は学園都市、龍ヶ崎を特集します。(2004年9月発行)



Q 東京駅～つくばセンター間に登場した2階建て長大高速バスの愛称は何？

- A. スーパーライナー
- B. つくばライナー
- C. メガライナー

正解者の方から抽選で、鹿島鉄道「キハ600形チョロQ」を5名様にプレゼントします。官製はがきに①クイズの答え、②本誌を手にした場所、③住所、氏名、年齢、職業、④本誌への感想や取り上げて欲しい情報等、ご意見を添えてご応募下さい(締切りは5月末日消印有効)。なお、当選発表はご本人への発送を以てかえさせていただきます。

〒300-8555 土浦市真鍋1-10-8 関東鉄道(株)企画課内
POCKET編集部プレゼント係 まで

※前号の答え…正解はBでした。多くのご応募ありがとうございました。

POCKET ポケットメイト募集～
編集部から 貴方が沿線を紹介して下さい。

編集部では、一諸に旅してくれる本誌女性モデルを募集しております。お友達と2人でも結構です。簡単な履歴、顔写真を添えて編集部までご応募下さい。追ってご連絡差し上げます。採用の方には、記念品を贈呈致します。

また、編集部では皆様の幅広い情報をお待ちしております。身近な話題からお店の紹介、多くの方にお知らせしたいことなどお寄せ下さい。なお、関東鉄道の情報はインターネットでもご覧になれます。
<http://www.kantetsu.co.jp/>

本誌への広告掲載のご案内

地域密着型の本誌は当社各駅、バスターミナル案内所、行政関係各所、東京の観光アンテナショップ、京成電鉄、新京成電鉄各駅に設置されたフリーペーパーで100,000部を発行しております。お店や企業のPRツールとして本誌への広告掲載のお申し込みは総務部企画課までお願いします。媒体資料を用意しております。

- 旅した人/Raiko Inaba, Sonoko Inaba, Mari Shimura.
- 撮影/Yoshiyuki Jumonji

関東鉄道コミュニケーションガイド 関鉄POCKET 2004 Vol.5

発行 **関東鉄道株式会社** 総務部企画課
TEL029-822-3710 FAX029-823-5834

re100 古紙配合率100%再生紙(エコマーク取得)を使用しています